

## 第 7 回在り方検討委員会に向けた意見聴取まとめ

## 1 「資料 4 8 答申の構成案（たたき台）」全体に対する追加・修正についてのご意見

## 【渡邊副委員長】

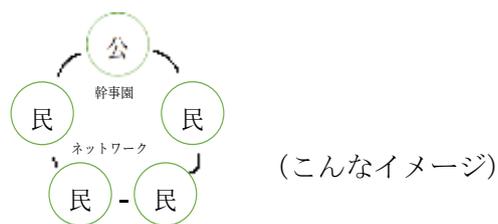
「税の公平配分」と「公立保育園への重点投資」の対立に加え、「公民の保育圏」の対立も顕在化してしまいました。公私ともに園関係者は限られた予算の中で「子どもが好きである」という一点において「子どもの最善の利益」を追求してきました。この対立の背景には、公立と民間保育園関係者の認識の違いがあります。この違いは主に情報共有の不足から生じています。情報共有の対応は次の設問で指摘します。公私ともに優れた実績を上げてきた点を正しく評価し、その内容を 1 章 (1) でしっかり示すべきです。また 3 章②において「グレイゾーン」という表現は避けるべきです。グレイは日本語では灰色ですが「色」という特色を持たない光の暗さです。また文化的には黒は闇を意味し白は光を意味しそれぞれ意味づけられています。「色」はシャープなスペクトルを持ちます。すなわち特徴があるのです。「難度の高い保育」の対象児は決して灰色でなく、ある分野でシャープな強さを持っている可能性があります（なくてもあると信じるべきです）。他の子どもと違い普通の意味で対応が難しいという意味ではなく、彼らの隠された能力を引き出すということが難しいと捉える、このような側面を一委員として強く主張します。

## 【水津委員】

今までの議論をわかりやすく記載していただければと思います

## 【八木委員】

- ・「はじめに」から 2 まではコンパクトにまとめたほうがいいと思います。
- ・ 1 に関して。特徴、特色と特性、特質は意味がちがうと思います。できれば混乱しないように統一した観点からまとめるといいと思います。
- ・ 3 に関しては図などを取り入れてわかりやすい様式で述べるはどうでしょうか？



## 【大前委員】

・【役割の整理】の緊急時に地域の子どもと保育を守る役割の中のセーフティーネットとしての実施内容として「障害児保育」「保育の質の標準化」を追加。難易度の高い保育を実践する上で、その役割・機能を保証することが行政として大前提である。

・ 5 つ目の役割・機能として「地域の保育関連施設・機関との連携の幹事園・実施モデル園としての機能」を追加する。行政の役割として①公民人材交流・育成、②幼保小連携、③巡回支援・相談、④医療的ケア児連絡調整、⑤インクルーシブ保育、⑥先進的保育・教育事業（大学連携）、⑦全体の連携システムの構

## 築・理論化

・これまで、公立保育園の役割と課題を議論してきたうえで、改めて「市立保育園に期待される役割の実現に向けた課題」について再定義するべきではないか。

5つの課題ありきで議論を進めるべきではなく、「新たな保育業務の総合的な見直し方針」における「5つの課題」①園舎老朽化への対応、②保育定員の適正化、③保育サービス拡充に向けた予算と人員の確保、④公立保育園の公費負担、⑤自治体経営の観点（市立保育園5園維持の困難）を参考とするべきではなく、議論に追加希望する。

5つの課題を議論するというのであれば、園舎老朽化に対して公共施設個別施設計画にどの程度踏み込まれて予算が割かれているのかや、保育サービスの拡充に向けた予算と人員の確保に向けて行ってきた取り組み内容・結果、自治体経営の観点として、市の財政をどの程度圧迫していて、廃園することによって、どこに予算が割かれて市全体に有益なことが起きるのかを、委員に詳細に説明する必要がある。説明なくして、老朽化や財政についてどう解釈していいのか判断できない。

・付随内容として、さくら保育園の原告の方が、市長・部長と1月中旬に面談時、募集再開について要望を伝えたが、「決して、1人で卒園するのがいいとは思っていないが、募集人数については、在り方検討委員会の結果をもって一緒に人数を検討して再開する」と返答があったと説明されている。検討委員会の諮問内容に含まれていないとされているが含まないともされておらず、明記されていないのが正しい解釈ではないか。現状、市が委員会の結果を考慮するとしているならば、中長期の検討とは別に募集を再開することが必要ではないか。廃園が決定した園で、募集再開をしたところで入園希望者は来るのであろうか。中長期のあり方とは別に、募集再開について議題に追加を希望する。

2 「資料48 答申の構成案（たたき台）」中、「4 市立保育園の役割を実現するための課題」、「5 市立保育園の在り方～課題への対応策」に盛り込みたい内容

【渡邊副委員長】

### 課題1：小金井市の保育理念の構築

小金井市では、「税の公平配分」と「公立保育園への重点投資」をめぐる対立が続いており、「入所する子どもの最善の利益」に関する包括的な議論が不足してきました。これまでの議論を踏まえ、すべての子どもとその家庭に最善の利益をもたらす将来像を、心身の状態や通園先を問わず明確にする必要があります。

### 課題2：柔軟な発想と組織運営

対立を背景に、市は保育業務見直しの中で「5つの課題」を設定しました。特に園児減少と人員確保の課題は深刻で、柔軟な発想が求められます。また、保育政策と基本計画の諸関連施策を横断的につなぐことも重要な課題です。

### 対応策1：「小金井市 心つながる保育圏」の実現

「モノからヒト」、「箱ものからサービス」を基本に、園同士や教育機関、行政が情報ネットワークでつながる仕組みを構築します。AIを活用し、不信感や不合理性の解消を図ると同時に、地域活動拠点を設けて肌感覚のつながりも重視します。

## 対応策 2：制約条件下での最適解の追求

「入所する子どもの最善の利益」を目的に、5つの課題を制約条件として柔軟に対応します。過去の対立を越え、制約条件の一部を緩和することで、より良い解決策を見出します。また、縦割り行政を改革し、横断的な連携を進めて可能性を広げる必要があります。

### 【水津委員】

先日の会議で「夢のある内容に」といいましたが、「小金井市の保育ビジョン」が問われているのだと思います。小金井市では子どもの権利に基づいて、だれもが安心して保育園に通えることを目標にし、そのために民間保育園のネットワークを作ることを公立園（行政）の役割であることを明記してほしいと思っています。小金井市は保育運営のほとんどを民間園にゆだねることにした責任をもって、民間保育園が円滑に運営できるよう最大限の努力が必要です。特別な配慮が必要な子の受け入れの拡充はもとより、そのほか民間では受け入れにくい場合の対応、小金井市の保育の質の向上、不測の事態への迅速な対応などより具体的な方針を明記する必要があると思います。

そのために中核となる市立園は通常の保育運営以外の人員が必要であること、小金井市全体の保育需要の体制は充足していること、現存の市立保育園の改修にかかる財政を人員、体制の確保に移行することが必要だと思います。

いずれにしても、市立保育園の役割を整備することで具体的な運営方法が見えてくるのではないのでしょうか？

まとまった意見にならず申し訳ありません

### 【八木委員】

4、5に関して

・3の市立保育園の役割を考えた時、5園すべての存続とは直結しないように感じています。役割に特化した運営に着目するのなら、スクラップ&ビルドの考えは必要ではないのでしょうか？

その際にはPPPやPFIも視野の隅に入れることが出来ないのでしょうか？

(まだ時期尚早な気もしています。)

しっかりまとまっていなくてすみません

### 【大前委員】

＜小金井市立保育園の役割と課題、在り方について＞

#### 1. 市立保育園の役割

小金井市立保育園は、地域における「保育の質の維持・向上」と「セーフティネット機能」を果たす重要な存在です。具体的な役割は以下の4点に整理されます

##### 1) 地域の連携、保育の質の維持・向上を促す役割

○公立園は、地域の保育施設全体の質の向上を担う「モデル園」として存在し、民間施設との交流や指導を通じて、保育全体の底上げを図ります。難度の高い保育を率先して担う役割

##### 2) 難度の高い保育を率先して担う役割

○医療的ケア児や障害児、生活課題を抱える家庭などの支援を実施し、民間園では対応が難しいケースの受け皿として機能します。

在宅子育て家庭を支援する役割

### 3) 在宅子育て家庭を支援する役割

○保育の専門性を活かし、在宅育児支援や一時保育を提供し、地域の子育てを包括的に支えます。

### 4) 緊急時における地域の保育を守る役割

○災害時や民間園の一時的な閉園時に、最終的なセーフティネットとしての受け皿となり、地域全体の安心を確保します。

### 5) 行政としての役割「地域の保育関連施設・機関との連携役割と、幹事園・実践モデル園としての役割」

○公民人材交流・育成、幼保小連携、巡回相談・支援、医療的ケア児連絡調整、インクルーシブ保育、先進的保育・教育事業（大学連携）、全体の連携システム等の構築・理論化

## 2. 市立保育園の課題と対応策

「新たな保育業務の総合的な見直し方針」における5つの課題

### 1) 園舎老朽化への対応

○5園全てが老朽化しているが、耐震補強などにより長寿命化が可能。適切な維持管理を進めることで財政的負担を平準化できる。

### 2) 保育定員の適正化

○現状、公立園の定員510人に対し、民間園の定員3,339人と民間依存が高いが、障害児や医療的ケア児の受け入れなどを考慮すると、一定数の公立園の維持が必要。

### 3) 保育サービス拡充に向けた予算と人員確保

○保育士確保と専門的なケア提供を強化し、行政による支援を充実させることで、市民ニーズに対応。

### 4) 公立保育園の公費負担

○廃園による大幅な財政削減は見込めず、むしろ公立園の存続により、将来的な福祉コスト削減に寄与。

### 5) 自治体経営の観点（市立保育園5園維持の困難）

○財政制約の中で、民間園との連携や公立園の適正な配置による効率的運営が必要。

## 3. 小金井市に必要な公立園数と定員数の算出

市の人口動態および保育需要を考慮した結果、以下の算出式に基づいて公立園の必要数を評価しました

### 1) 基本需要の算出

#### ①ベース需要計算

年間保育需要数 = 年間出生数(900人) × 6年分 × 平均内定率(92.7%)

= 900 × 6 × 0.927

= 5,005人

#### ②年齢別調整

・0歳：85.4%

・1-4歳：段階的に上昇

・5歳：100%

## 2) 特別支援枠の必要数

### ①医療的ケア児

必要受入数 = 全体定員(3,849人) × 医療的ケア児発生率(0.8%)  
= 31人

公立園必要数(医療的ケア児)

公立園必要定員 = 医療的ケア児数(31人) × 公立分担率(45%)  
= 14人

## 3) 最適な公立保育園数

(基本定員数)

必要定員数 = 全体定員(3,849人) × 適正公立比率(15%)  
= 577人

(特別支援加算)

総必要定員 = 基本定員(577人) + 医療的ケア児枠(14人)  
= 591人

(必要園数)

必要園数 = 総必要定員(591人) ÷ 1園あたり適正定員(110-120人)  
= 5.37園

→ 6園が適正

## 4) 地域別配置の考慮

(配置基準)

1. 医療的ケア児アクセス
2. 新規マンション開発(898戸)対応
3. 地域バランス

## 5) 提言：最適規模

(公立保育園)

- ・必要園数：6園
- ・総定員：600人程度
- ・1園あたり：100-110人

(配置計画)

1. 既存5園の維持
2. 新規マンション開発地域に1園増設

## 4. 市立保育園の今後の在り方

### ① 公立園の存続と機能強化

公立園は、民間園との役割分担を明確にし、特に医療的ケア児、障害児対応、災害時対応など、民間が担いにくい分野を強化。

### ② 民間園との連携強化

公立園が専門的指導やコーディネーション機能を担い、民間園の質向上を図る。

### ③ 持続可能な財政運営

長寿命化改修の計画的実施により、財政負担の平準化と公共施設の適正配置を進める。

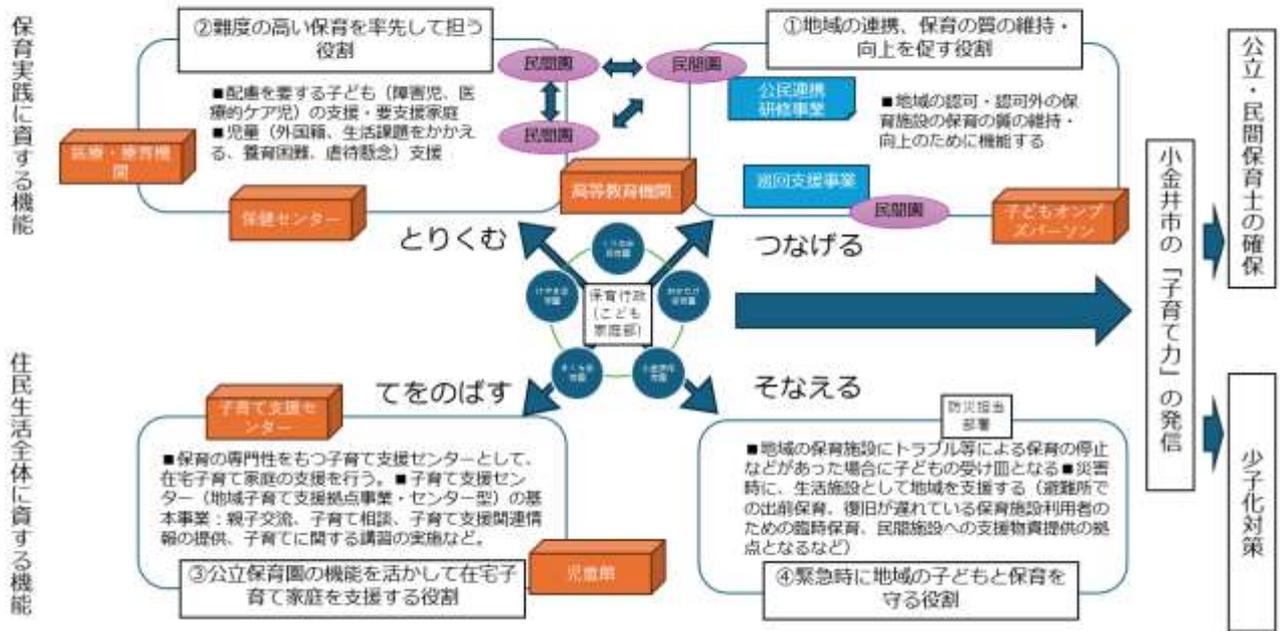
---

まとめ：財政問題より優先すべき事項

公立保育園は、民間園では対応が難しい保育ニーズに応える重要な役割を果たしており、短期的な財政削減のみを理由とした廃園は、長期的な市民サービス低下や社会的コスト増加を招く恐れがあります。むしろ、公立園を維持し、効率的な運営を図ることで、小金井市の持続可能な子育て支援環境を構築すべきです。

【田中委員】

公立保育園が果たす役割（モデル）



第6回の委員会を受けて、資料47にあります4つの機能を軸に、公立保育園及び保育行政の役割をモデル化してみました。

【モデル全体の流れ】

中心に保育行政（こども家庭部）、周囲に5園を円環状に位置づけ、①地域の連携、保育の質の維持・向上を促す役割、②難度の高い保育を率先して担う役割、③公立保育園の機能を活かして在宅子育て家庭を支援する役割、④緊急時に地域の子どもと保育を守る役割、を位置づけています。特に、①、②の役割は「（小金井市全体の）保育実践に資する機能」を持ち、③、④の役割は「住民生活全体に資する機能」を持つと解釈し、上段・下段に分けて記載しました。

【各役割についての説明】

●（小金井市全体の）保育実践に資する機能

公立保育園はこれまでも、②難度の高い保育を率先して担ってきましたし、今後もそうした役割が期待されます（もちろん、民間園でも多様なニーズをもつ子どもの受入や、家庭への支援は行われてきましたので、そのことが分かるように、②の領域に「民間園」も加えています）。そうした中で、公立保育園が「公民連携研修事業」「巡回支援事業」を通して、公民の保育者のスキルアップを図ることで、公民共に、安心して多様なニーズのある子どもや家庭を支援することが出来るよう、地域の連携、保育の質の維持・向上を促す役割を担うものと考えます。

また、地域の高等教育機関との連携をはかることで、小金井市で取り組まれている貴重な実践を理論化していくことが可能になると考えます。また、こうした実績を広く公表していくことは、小金井市全体の魅力の創出にもつながると考えます。

## ●住民生活全体に資する機能

子育て支援センター併設の可能性を含めて、公立保育園の機能を活かした在宅子育て家庭の支援が求められます。保育園には保育士だけでなく、看護師や栄養士といった多様な専門職の知識が蓄積されており、公立保育園がそうした役割を担うことは、住民生活全体に資するものといえます。また、公立保育園には、緊急時に地域の子どもと保育を守る役割が期待されます。これは小金井市に住む子どもだけでなく、災害時には首都圏の各自治体が協力して保育や子育てを支えていく必要があります。こうした点については、防災担当部署との協力の下で、準備が必要となるでしょう。

## ●小金井市の「子育て力」の発信に向けて

公立保育園の課題からは少し外れてしまいますが、保育行政の役割として、小金井市の「子育て力」の発信、その延長に「公立・民間保育士の確保」「少子化対策」を位置づけています。この点については、前回の追加意見（資料46の田中提案3）を位置づけた内容となります。

### 【尾高委員】

公立保育園の在り方について皆様の多種多様な意見を聞かせていただいた上で、いくつかの私個人の意見、提案をさせて頂きたくメールいたしました。

まず、医療ケア児について細かく資料、意見が出ておりますが、小金井市では現在『医療的ケア児コーディネーター』を軸に連携が始まっております。

そこから見えるのは今、必要とされているのは医療ケア児に対する『専門家、専門士（看護師など）』であり、一般保育士の負担を減らし、長く健康に勤務して貰う事だと思われまます。また医療的ケア児を受け入れるにはバリアフリーなどの課題も多く、公立、自治体のみで解決は難しいと考えます。

これに関係して公立保育園を福祉避難所にする案も出ておりますが、現在、公立保育園は老朽化もあり、決して福祉避難所に適した施設ばかりとは言えないのが現状です。

また、発災時が平日昼間の場合、公民関係なく、その場で待機が原則であり、民間施設で安全を確保出来るならば、まずは行政が各保育園と情報共有出来るシステム構築が最優先だと考えます。

そこから考えるに

医療ケア児、災害時対応に関して公立だけを基幹園とするのは無理があると思われまます。

やはり、公立保育園の在り方を考えるに、児童の安全確保の為の民間との連携促進、情報共有、地域、行政との連携は必須であり、5つの課題から見る施設の段階的縮小の後を見通し、保育士の確保、職場環境改善、こども家庭庁（国）の動向をいち早く正確に反映する事が今、公立保育園が求められている事だと考えています。

公立保育園の在り方に求められる事

- ① 児童保護者の安全確保
- ② 率先した職場環境改善
- ③ 保育士の負担軽減
- ④ 公民官の連携、情報共有としての基幹園

☆小金井市の保育園で働きたい！子どもを預けたい！と思える環境作り☆

が公立保育園の在り方だと考え稚拙ながら文章化させて頂きました。

検討材料の一端になれば幸いです。

【普光院委員長】

答申「1 小金井市における保育等の現状」の(1)素材提供

答申内容を検討するにあたり、答申を受ける市自身が保育施策に対する決意を固めていただく必要、議会等関係者の方々に小金井市の保育施策の現状について正しく理解していただく必要を感じている。

そこで、「1 小金井市における保育等の現状」の(1)において、小金井市の保育の現在位置をデータで示し、保育施策・子育て支援策にさらなる注力が必要であることを明確にし、後の部分につなげられるとよいと考える。

たとえば、以下のような内容も素材として提供したい。

「100都市保育力充実度チェック 2024年度版」\*データで見る小金井市の保育の客観的状況について

\*首都圏および政令市100市区を対象に調査。都下は26市中22市を対象としている。

① 入園決定率（新規入園者数÷新規入園申込者数）

小金井市	87.1%
都下22市平均	78.8%
94市区平均*	79.1%

\*有効回答市区

② 公立保育園設置率（全認可保育所数に占める公設公営園の割合）

小金井市	11.4%
都下22市平均	12.4%
100市区平均	16.6%

③ 公立保育園の民営化

小金井市	実施していない
100市区	79市区が実施

④ 園庭保有率（全認可保育所のうち敷地内に基準を満たす園庭を保有している園の割合）

小金井市	38.6%
都下22市平均	78.5%
100市区平均	70.0%

⑤ 保育士配置基準で1歳児を5対1としている（国基準は6対1）

小金井市	公立と昔からある民間園のみ実施、新規の民間園は国基準
都下22市	公民全園実施は16市、公立のみは4市区、全園国基準は2市
100市区	公民全園実施は56市区、公立のみは28市区、全園国基準は16市区

このほか、都下 22 市では、障害児加配など子どもの人数との比率によらない部分での保育士配置に東京都旧基準を基本とした上乘せを行なっている自治体が多いが、小金井市は国基準である。

⑥ 障害児保育の実施率（全認可保育所のうち障害児受入可能な園の割合）

小金井市*	79.5%
都下 22 市平均	96.7%
100 市区平均	94.9%

\*公立 100%、民間 68.2%

⑦ 延長保育実施率、平均実施時間（未実施園を 0 分とした平均）

	実施率	平均実施分数
小金井市	100.0%	86.5 分
都下 22 市平均	93.4%	79.0 分
100 市区平均	93.9%	78.6 分

⑧ 1 歳児保育料（総務省「令和 4 年度家計年報」から設定した中間的世帯収入で回答）

小金井市	18,800 円
都下 22 市平均	25,514 円
91 市区平均*	31,876 円

\*回答指標が異なる 9 市を除外。

これらのデータから小金井市の保育の現状として述べられること

- ・待機児童対策に注力し、高い入園決定率を実現した。
- ・延長保育の実施率や実施時間も平均を上回っており、利便性の高い保育を実現できている。
- ・保育料は、非常に安く保っている。
- ・2004 年に公立保育所の運営費が一般財源化された後も民営化することなく、公立保育園 5 園を維持してきた。
- ・しかし、民間保育所の整備量が多かったため、全認可保育所に占める公立保育所の割合は、平均を下回っている。
- ・待機児童対策を急ぎ、民間保育所の整備において園庭（屋外遊技場）を求めなかったため、全認可保育所に占める園庭保有園の割合が、平均を大きく下回っている。
- ・保育士配置については、都下の多くの市が旧東京都基準で上乘せ配置（障害児保育など）を行なっているが、小金井市は国基準の配置になっており、1 歳児 5 対 1 での配置も公立と一部の民間園に留まっている。

### 3. 市立保育園に求められる4つの役割① ※追加提案

公立保育園を基幹園とする

基幹園としての役割 資料47

役割 1	実施内容	公立として期待される付加的機能
地域の連携、保育の質の維持、向上を促す役割（行政機関としての役割）学ぶ・つなげる	地域の認可・認可外の保育施設の保育の質の維持・向上のために機能する  ・「 <b>小金井市市保育のガイドライン</b> 」の更新 ・各地域の園長会議、看護師会議、栄養士会議や各種専門研修などの開催	保育所保育指針・小金井市保育の質のガイドラインに準拠した保育を自ら行い、小金井市の保育の実践モデルとして存在する
		各地域の民間保育施設との連携・交流し学び合いの場をつくったり、蓄えられた専門性、経験値を活かした支援・指導を行う（ <b>地域連絡会</b> ）
		園庭・プールなどを民間保育施設に利用してもらう→機能？実施内容では？他に比べて具体的すぎる？
		行政部門で巡回支援指導、都と合同で指導検査を実施する人材を育成する

### 3. 市立保育園に求められる4つの役割② ※追加提案

公立保育園を基幹園とする

基幹園としての役割 資料47

役割 2	実施内容	公立として期待される付加的機能
難度の高い保育を率先して担う役割 （行政機関としての役割）取り組み	・配慮を要する子ども（障害児、医療的ケア児）の <b>把握</b> と支援 ・要支援家庭・児童（外国籍、生活課題をかかえる、養育困難、虐待懸念）の <b>把握</b> と支援	こども家庭センター、療育機関（児童発達支援センター、児童発達支援事業等）、医療機関などと連携して難度の高い保育を自ら率先して行うとともに、民間保育施設と連携して事例の共有や必要な支援を充足させる

### 3. 市立保育園に求められる4つの役割③ ※追加提案

公立保育園を基幹園とする

基幹園としての役割 資料47

役割3	実施内容	公立として期待される付加的機能
公立保育園の機能を活かして在宅子育て家庭等を支援する役割 (地域子育て支援拠点としての役割) 手を伸ばす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の専門性をもつ子育て支援センターとして、在宅子育て家庭の支援を行う。</li> <li>・乳幼児健康相談(のびのび広場相談)を公立保育園で実施 ※健康課との連携</li> <li>・子育て支援センター(地域の子育て支援拠点事業・センター型)の基本事業:親子交流、子育て相談、子育て支援関連情報の提供、子育てに関する講習の実施など。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の在宅子育て家庭への支援を、保育の専門性・経験値を活かして行う。</li> <li>・子育て相談(対面、電話、メールなど)、出前保育、母子保健事業に参加するなどのアウトリーチの活動、一時保育(こども誰でも通園制度)などの実施を通して支援ニーズを発見する。</li> <li>・民間園への人材派遣。在宅子育て家庭向け出前イベント実施。 →子育て相談の入口を増やす</li> <li>・必要に応じて保育の実施による支援を行ったりこども家庭センター等他機関と連携して支援をつなぐなど、幅広く臨機応変な支援を行う</li> <li>・高齢者との交流、小学生の居場所の提供など、多世代への支援も視野に</li> </ul>

実施内容と機能が混在?  
要再整理?

### 3. 市立保育園に求められる4つの役割④ ※追加提案

公立保育園を基幹園とする

基幹園としての役割 資料47

役割4	実施内容	公立として期待される付加的機能
緊急時に地域の子どもと保育を守る役割 (保育施設としての役割) そなえる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の保育施設にトラブル等による保育の停止などがあった場合に子どもの受け皿となる</li> <li>・災害時の地域の未就学児と家庭の支援拠点となる(各地域の保育施設の被災状況の把握、人的物的支援の必要性の調査・把握)</li> <li>・災害時に、生活施設として地域を支援する(避難所での出前保育、復旧が遅れている保育施設利用者のための臨時保育、民間施設への支援物資提供の拠点となるなど)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の責任による最終的な子どものセーフティネットとして機能する。</li> <li>・市の機関として横断的に連携しながら、非常時対応をする</li> </ul>

4. 公立保育園の役割を実現するための課題 付加的機能のために必要な体制の確保及び配置の論点など

●公立保育園を基幹園とする

→一般園の設備に、地域の調整役としての機能（会議室、研修室等に活用できるスペース）があると望ましい。小学生の居場所（学童連携）にも活用？

●基幹園としての役割 資料47

●考え方

- ・公立保育園保育士も保育従事を原則とする
- ・公立保育園には基幹園として看護師（各園1名）、保健師（健康課より基幹園を中心に巡回？）、栄養士（各園1名）、保育ソーシャルワーカー（新設）、地域担当保育士（新設）を置く

- ・今いる人材を活用する

●地域担当保育士の役割

- ・基幹園補助業務
- ・地域保育ネットワーク構築
- ・人材育成
- ・小規模な保育施設等からの相談対応・助言・連絡会の開催・地域子育て支援（地域の親子の交流促進、子育て相談への対応）

●保育ソーシャルワーカーの役割 ※スクールソーシャルワーカーの乳幼児版、スクール兼務もありか

DVや育児放棄などの家庭内の問題、障害や病気などに関する相談および支援。

4. 公立保育園の役割を実現するための課題 付加的機能のために必要な体制の確保及び配置の論点など①

役割1.地域の連携、保育の質の維持、向上を促す役割（行政機関としての役割）学ぶ・つなげる

実施内容	公立として期待される付加的機能	誰が	備考
地域の認可・認可外の保育施設の保育の質の維持・向上のために機能する  ・「小金井市市保育のガイドライン」の更新 ・公民合同の園長会議、看護師会議、栄養士会議や各種専門研修などの主催	保育所保育指針・小金井市保育の質のガイドラインに準拠した保育を自ら行い、小金井市の保育の実践モデルとして存在する	公立保育園保育士	
	地域の民間保育施設との連携・交流し学び合いの場をつくったり、蓄えられた専門性、経験値を活かした支援・指導を行う	保育課・地域担当保育士	
	園庭・プールなどを民間保育施設に利用してもらう →機能？実施内容では？	地域担当保育士	担当地域のニーズ把握と調整
	行政部門で巡回支援指導、都と合同で指導検査を実施する人材を育成する	保育課	

4. 公立保育園の役割を実現するための課題 付加的機能のために必要な体制の確保及び配置の論点など②

役割2. 難度の高い保育を率先して担う役割（行政機関としての役割）取り組む

実施内容	公立として期待される付加的機能	誰が	備考
<p>・配慮を要する子ども（障害児、医療的ケア児）の<b>把握と支援</b></p> <p>・要支援家庭・児童（外国籍、生活課題をかかえる、養育困難、虐待懸念）の<b>把握と支援</b></p>	<p>子ども家庭センター、療育期間（児童発達支援センター、児童発達支援事業等）、医療機関などと連携して難度の高い保育を自ら率先して行うと主に、民間保育施設と連携して、事例の共有や必要な支援を充足させる。</p>	<p>難度の高い保育の率先…公立保育園保育士</p> <p>連携・共有…地域担当保育士</p>	<p>市では民間保育園も含めた、市内全体の障害児童や医療的ケア児童の人数等を把握していない状況を打破</p>
	<p>地域の民間保育施設との連携・交流し学び合いの場をつつたり、蓄えられた専門性、経験値を活かした支援・指導を行う</p>	<p>保育課・地域担当保育士</p>	
	<p>行政部門で巡回支援指導、都と合同で指導検査を実施する人材を育成する</p>	<p>保育課</p>	

4. 公立保育園の役割を実現するための課題 付加的機能のために必要な体制の確保及び配置の論点など③

役割3. 公立保育園の機能を活かして在宅子育て家庭等を支援する役割（行政機関としての役割）手を伸

はす

実施内容	公立として期待される付加的機能	誰が	備考
<p>・保育の専門性をもつ子育て支援センターとして、在宅子育て家庭の支援を行う。</p> <p>・子育て支援センター（地域の子育て支援拠点事業・センター型）の基本事業：親子交流、子育て相談、子育て支援関連情報の提供、子育てに関する講習の実施など。</p>	<p>・地域の在宅子育て家庭への支援を、保育の専門性・経験値を活かして行う。</p> <p>・<b>乳幼児健康相談（のびのび広場相談）を公立保育園で実施 ※健康課との連携</b></p>	<p>保育課・健康課</p> <p>地域担当保育士</p> <p>看護師</p> <p>保健師</p>	
	<p>・子育て相談（対面、電話、メールなど）、出前保育、母子保健事業に参加するなどのアウトリーチの活動、一時保育（こども誰でも通園制度）などの実施を通して支援ニーズを発見する。</p> <p>・<b>民間園への人材派遣。在宅子育て家庭向け出前イベント実施。</b></p> <p>→子育て相談の入口を増やす</p>	<p>保育課・健康課</p> <p>公立保育園保育士</p> <p>地域担当保育士</p> <p>看護師</p> <p>保健師</p> <p>保育ソーシャルワーカー</p>	
	<p>・必要に応じて保育の実施による支援を行ったりこども家庭センター等他機関と連携して支援をつなぐなど、幅広く臨機応変な支援を行う</p>	<p>地域担当保育士</p> <p>保育ソーシャルワーカー</p>	
	<p>・高齢者との交流、小学生の居場所の提供など、多世代への支援も視野に</p> <p>→※縦の連携をもう少し充実させ記載？</p>	<p>地域担当保育士</p>	

#### 4. 公立保育園の役割を実現するための課題 付加的機能のために必要な体制の確保及び配置の論点など④

役割 4.緊急時に地域の子どもと保育を守る役割（保育施設としての役割）そなえる

実施内容	公立として期待される付加的機能	誰が	備考
・地域の保育施設にトラブル等による保育の停止などがあった場合に子どもの受け皿となる ・災害時の地域の未就学児と家庭の支援拠点となる（各地域の保育施設の被災状況の把握、人的物的支援の必要性の調査・把握） ・災害時に、生活施設として地域を支援する（避難所での出前保育、復旧が遅れている保育施設利用者のための臨時保育、民間施設への支援物資提供の拠点となるなど）	・市の責任による最終的な子どものセーフティネットとして機能する。	保育課 公立保育園保育士	
	・市の機関として横断的に連携しながら、非常時対応をする	保育課 公立保育園保育士 （児童受入れ） 地域担当保育士（情報収集）	

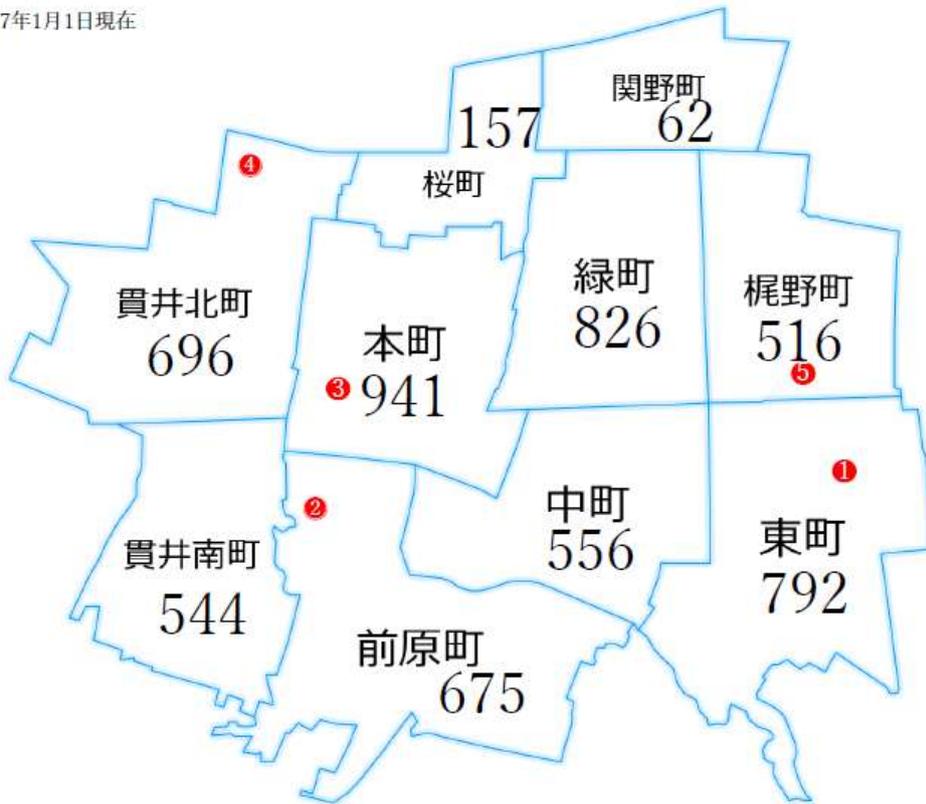
#### 5. 市立保育園の在り方～課題への対応策

・参考：諮問1 近隣自治体等における事例も踏まえた市立保育園に期待される役割 を受けて

小金井市	0-5歳人口（R7.1.1）	6,035人	
	公立保育園数	5園	
	1園あたりのカバー人口	1,207人	
小平市	0-5歳人口	8,519人	・民間保育園への移行に併せて、公立保育園の一部を基幹園として設定 ・基幹園の役割：①地域支援・連携、②食育の充実、③人材の育成
	公立保育園数	9園	
	1園あたりのカバー人口	947人	
西東京市	0-5歳人口	8,349人	・主に公設公営保育園が担うべき役割 ①蓄積された人材やその経験・技術を活かした保育の実践、②児童福祉課題を抱える子ども・子育て家庭の支援機関としての役割、③多様化する地域において保育の質を確保し高める機関としての役割 ・公立の在り方検討項目：①地域全体の保育の質の確保、②保育のセーフティネット、③在宅で子育てをする家庭への支援、④保育行政を担う人材の育成
	公立保育園数	13園	
	1園あたりのカバー人口	642人	
三鷹市	0-5歳人口	7,747人	・民間保育園への移行に併せて、公立保育園の一部を基幹園として設定 ・基幹園の役割：①地域支援・連携、②食育の充実、③人材の育成
	公立保育園数	9園	
	1園あたりのカバー人口	861人	
武蔵野市	0-5歳人口	6,303人	・平成23年度から市立保育園の設置・運営主体の変更により子ども協会への移管が開始され、現在5園が子ども協会立保育園へ ・市立保育園の今後の役割：①市内保育施設の保育の質の維持・向上、②養育困難家庭等への支援（保育関係施設におけるセーフティネットの中核として）、③医療的ケア児の受け入れに向けた体制の整備、④災害時における保育園型福祉避難所の機能の確保と新たな感染症への対応、⑤保育士による現場経験に基づいた施策の提案等
	公立保育園数	4園	
	1園あたりのカバー人口	1,576人	

# 町別 未就学児数 (0-5歳児)

令和7年1月1日現在



1	くりのみ保育園
2	わかたけ保育園
3	小金井保育園
4	さくら保育園
5	けやき保育園



# 中学校通学区域と公立保育園配置



## お出かけ情報 子育て施設マップ

## 認可基準園庭保有園配置 ※13園保育課確認中



施設番号	施設名称
1	くりのみ保育園
2	わかたけ保育園
3	小倉井保育園
4	さくら保育園
5	けやき保育園
6	光南第二保育園
7	ひたひた保育園
8	雲の園保育園
9	しんかい保育園
10	宮井保育園
11	こぞ保育園
12	ひまわり保育園
13	アスワ武蔵小倉井北口保育園
14	駅前コスモ保育園
15	小倉井ブナ・クレイシェ
16	みずき武蔵小倉井保育園
17	第二コスモ保育園
18	グロースガーデン武蔵小倉井前
19	キッズガーデン武蔵小倉井駅前
20	武蔵小倉井保育園
21	まなびの森保育園武蔵小倉井
22	キッズガーデン武蔵小倉井
23	ドリームキッズ小倉井保育園
24	武蔵小倉井児童保育園
25	東洋工科大学さくら保育園
26	第十二保育園
27	キッズガーデン小倉井駅前
28	しんかい保育園
29	小倉井公園ハイジ保育園
30	宮井保育園
31	小倉井北口の保育園
32	グロースガーデン小倉井第二保育園
33	上北ハイジ保育園
34	武蔵小倉井えはら保育園
35	キッズガーデン小倉井
36	ひまわり保育園
37	グロースガーデン保育園武蔵小倉井
38	Gardenはぐれん小倉井
39	十小コスモ保育園
40	第二コスモ保育園
41	キッズガーデン小倉井町
42	アスワ武蔵小倉井南口保育園
43	アソビカキ小倉井保育園
44	はぐれん保育園武蔵小倉井
45	五反田保育園
46	第三コスモ保育園
47	ふたば保育園武蔵小倉井駅前
48	ひまわり保育園
49	ふたば保育園武蔵小倉井
50	Ark 小倉井保育園
51	東洋的保育園さくらルーム
52	東洋的保育園オアシス
53	小倉井けやきの森認定こども園
54	小倉井ブナ・クレイシェ
55	園地保育園
56	東京学芸大 学芸の森保育園
57	復興病院附属後援保育園
58	ひまわり保育園
59	小倉井教会幼稚園
60	開成幼稚園
61	みぞら幼稚園
62	こどもくに幼稚園
63	せしめん幼稚園
64	あぐり幼稚園
65	東京学芸大新築幼稚園

お出かけ情報  
子育て施設マップ

在宅子育て支援① (園庭解放 ●毎月 ○毎月以外 ※1~3月)



No.	施設名など
1	くろみ保育園
2	わかたけ保育園
3	小倉井保育園
4	さくら保育園
5	けやき保育園
6	カネツニ保育園
7	ひなびく保育園
8	風の園保育園
9	しんあひ保育園
10	雷井保育園
11	こぞ保育園
12	ひまわり保育園
13	アズク武蔵小倉井北口保育園
14	駅前コスモ保育園
15	小倉井北アークプレイス
16	ついで武蔵小倉井保育園
17	第二コスモ保育園
18	グローバルキッズ武蔵小倉井前
19	キッズガーデン小倉井駅前
20	第六コスモ保育園
21	まなびの森保育園武蔵小倉井
22	キッズガーデン北武蔵小倉井
23	ドリームキッズ小倉井保育園
24	武蔵小倉井保育園
25	東京工芸大学レイバード保育園
26	第十コスモ保育園
27	キッズガーデン小倉井駅前
28	しんあひのぞ保育園
29	小倉井公園ハイム保育園
30	舞井あひのぞ保育園
31	小倉井なほ保育園
32	グローバルキッズ小倉井第二保育園
33	上野ハイム保育園
34	武蔵小倉井えん保育園
35	キッズガーデン小倉井
36	げんき保育園
37	ヴァンさのの保育園武蔵小倉井
38	Gakkenつくしん人小倉井
39	十一コスモ保育園
40	ニコスモ保育園
41	キッズガーデン小倉井駅前
42	アズク武蔵小倉井北口保育園
43	アンジェリカ小倉井保育園
44	にほ保育園武蔵小倉井
45	まなび保育園
46	第二コスモ保育園
47	桜家病院幼児発達保育室
48	みんこ保育園
49	ふし保育園
50	みんこ保育園
51	まなび保育園
52	まなび保育園
53	まなび保育園
54	小倉井アークプレイス
55	国際保育園
56	東京学芸大 学芸の森保育園
57	桜家病院幼児発達保育室
58	ひよこ保育園
59	小倉井公園ハイム
60	舞井あひのぞ
61	みんこ保育園
62	こどもへのこ保育園
63	せしん保育園
64	あけい保育園
65	東京学芸大 学芸の森

お出かけ情報  
子育て施設マップ

在宅子育て支援② (みんなであそぼう保育園 ●毎月 ○毎月以外 ※1~3月)



No.	施設名など
1	くろみ保育園
2	わかたけ保育園
3	小倉井保育園
4	さくら保育園
5	けやき保育園
6	カネツニ保育園
7	ひなびく保育園
8	風の園保育園
9	しんあひ保育園
10	雷井保育園
11	こぞ保育園
12	ひまわり保育園
13	アズク武蔵小倉井北口保育園
14	駅前コスモ保育園
15	小倉井北アークプレイス
16	ついで武蔵小倉井保育園
17	第二コスモ保育園
18	グローバルキッズ武蔵小倉井前
19	キッズガーデン小倉井駅前
20	第六コスモ保育園
21	まなびの森保育園武蔵小倉井
22	キッズガーデン北武蔵小倉井
23	ドリームキッズ小倉井保育園
24	武蔵小倉井保育園
25	東京工芸大学レイバード保育園
26	第十コスモ保育園
27	キッズガーデン小倉井駅前
28	しんあひのぞ保育園
29	小倉井公園ハイム保育園
30	舞井あひのぞ保育園
31	小倉井なほ保育園
32	グローバルキッズ小倉井第二保育園
33	上野ハイム保育園
34	武蔵小倉井えん保育園
35	キッズガーデン小倉井
36	げんき保育園
37	ヴァンさのの保育園武蔵小倉井
38	Gakkenつくしん人小倉井
39	十一コスモ保育園
40	ニコスモ保育園
41	キッズガーデン小倉井駅前
42	アズク武蔵小倉井北口保育園
43	アンジェリカ小倉井保育園
44	にほ保育園武蔵小倉井
45	まなび保育園
46	第二コスモ保育園
47	桜家病院幼児発達保育室
48	みんこ保育園
49	ふし保育園
50	みんこ保育園
51	まなび保育園
52	まなび保育園
53	まなび保育園
54	小倉井アークプレイス
55	国際保育園
56	東京学芸大 学芸の森保育園
57	桜家病院幼児発達保育室
58	ひよこ保育園
59	小倉井公園ハイム
60	舞井あひのぞ
61	みんこ保育園
62	こどもへのこ保育園
63	せしん保育園
64	あけい保育園
65	東京学芸大 学芸の森

お出かけ情報  
子育て施設マップ

看護師配置あり園配置

- 商業施設
- 子育て支援
- 公園等
- 市役所等その他の公共施設
- バス・有軌電車
- 保育園
- 学校



№	施設名
1	くろふた保育園
2	わかたけ保育園
3	小倉井保育園
4	さくら保育園
5	けやき保育園
6	北原第二保育園
7	かなざき保育園
8	あまの保育園
9	しんあけ保育園
10	箕井保育園
11	こもろ保育園
12	ひまわり保育園
13	アスク武蔵小倉井北口保育園
14	都立コスモ保育園
15	小倉井ブチクワレシエ
16	しずく保育園
17	第二コスモ保育園
18	グリーンハウス武蔵小倉井
19	キッズガーデン武蔵小倉井駅前
20	第三コスモ保育園
21	みなぎの保育園武蔵小倉井
22	キッズガーデン武蔵小倉井
23	グリーンハウス武蔵小倉井保育園
24	武蔵小倉井保育園
25	東京工芸大学しずく保育園
26	第三コスモ保育園
27	キッズガーデン小倉井駅前
28	しんあけ保育園
29	小倉井保育園
30	箕井保育園
31	小倉井保育園
32	グリーンハウス武蔵小倉井保育園
33	しずく保育園
34	武蔵小倉井保育園
35	キッズガーデン小倉井
36	IFANA保育園
37	グランドハウス武蔵小倉井
38	Gakkenはいくえん小倉井
39	十ノコスモ保育園
40	第二コスモ保育園
41	キッズガーデン小倉井駅前
42	アスク武蔵小倉井北口保育園
43	アンビエカオ小倉井保育園
44	にいろ保育園武蔵小倉井
45	またゆき保育園
46	第三コスモ保育園
47	みなぎの保育園武蔵小倉井駅前
48	ひまわり保育園
49	みらい保育園武蔵小倉井
50	Ark ちの保育園
51	家庭的保育おひさまルーム
52	家庭的保育おひさま
53	小倉井79歳の森認定こども園
54	小倉井ブチクワレシエ
55	国際的保育園
56	東京学芸大 学芸の森保育園
57	桜見病院児童発達保育室
58	ひまわり保育園
59	小倉井教会幼稚園
60	朋愛幼稚園
61	みそら幼稚園
62	こどものごっこ幼稚園
63	せしん幼稚園
64	南くし幼稚園
65	慶応学芸大学附属幼稚園